

《企業紹介》

同社は電力供給に必要な送電用電線、変電設備機器、検流計の生産及び販売を中核事業とする企業グループである。1995年に国営の電力送配電機器の生産会社として設立され、ベトナムの電力供給インフラの発展に貢献してきた。そのような経緯から送配電設備の建設や機器の製造、販売、設置を中心とした電力設備関連事業が主力事業となっている。このほか、不動産事業や電力・上水道事業（再生可能エネルギーを中心とした電力販売と上水道設備の運営事業）も手掛けている。2021年4月にビグラセラ（VGC、ガラス土石系建設資材の大手メーカー、2021年12月期売上高11.4兆VND（ベトナムドン）、2021年4-6月期から連結対象）を子会社化し、建設資材事業も開始している。

《2023年7-9月期業績》

2023年7-9月期の売上高は前年同期比6.7%増の7.4兆VND（ベトナムドン）だった。電力設備関連事業が同26.0%増の4.1兆VND、不動産売買事業が同43.6%増の7,393億VND、電力・上下水道事業が同14.6%増の4,143億VNDとなり、売上高の増加を牽引した。一方、建設資材事業は同18.3%減の2.1兆VNDとなっている。前年同期比では増収に転じたが、民間の不動産投資や建設投資は依然として停滞が続いており、業績が回復に向かったかどうかは不透明な状況だ。

粗利益は同5.2%増の1.3兆VNDだった。電力設備関連事業が増収により同26.0%増の4,255億VNDとなったほか、不動産賃貸事業が増収と採算改善効果により同115.6%増の3,868億VNDとなったことが全体を牽引している。一方、建設資材事業は減収と採算悪化により同45.1%減の3,193億VNDに落ち込んだ。また、増収だった電力・上下水道事業も設備の減価償却負担の増加により同13.7%減の1,755億VNDとなっている。

税前利益は同32.6%増の3,740億VNDだった。粗利益の増加に加えて、販売費や一般管理費の減少により大幅な増益を達成している。建設資材事業の利益縮小により、少数株主持分控除が前年同期の2,063億VNDから1,362億VNDに大きく減少したことから、税引後利益（親会社株主帰属分）は同8倍超の1,220億VNDとなった。

図表1 四半期業績の推移（単位 十億VND）

	2022年7-9月期		2022年10-12月期		2023年1-3月期		2023年4-6月期		2023年7-9月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
売上高	7,013.8	16.1	7,361.4	-21.9	6,410.0	-25.9	7,995.7	-11.8	7,487.2	6.7
粗利益	1,326.3	38.2	1,311.2	-14.0	1,268.7	-30.7	1,687.6	-15.2	1,394.7	5.2
粗利益率(%)	18.9	+3.0%p	17.8	+1.6%p	19.8	-1.4%p	21.1	-0.8%p	18.6	-0.3%p
金融費用(マイナスは収入)	250.2	196.2	340.5	173.6	529.0	101.1	226.0	-67.1	336.9	34.7
販売費	328.2	57.4	325.0	-0.3	237.0	-16.6	298.2	-15.5	293.5	-10.6
一般管理費	452.3	42.3	364.2	-23.5	364.1	-16.0	315.5	-21.6	375.5	-17.0
税前利益	282.0	-30.2	326.3	-49.0	143.8	-84.0	870.4	49.1	374.0	32.6
親会社株主帰属の税引後利益	14.5	-93.9	84.0	-59.5	-92.3	赤字転落	321.1	2,359.2	122.0	740.8

出所 会社資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

有効期限作成日より180日

News20231113

主な事業 金融商品取引業

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

グレックスグループ(GEX)



《株価の動向》

同社の株価とVN指数を2022年末の終値を100としてそれぞれを指数化したものが図表2である。2023年の年初からの同社の株価は4月以降、顕著にVN指数をアウトパフォームしている。11月10日終値時点でVN指数が2022年末比9%の上昇となっているのに対し、同社の株価は76%の上昇となっている。11月10日終値21,850VNDで計算した時価総額は18.6兆VNDで、これは2022年12月期実績の親会社株主帰属の税引後利益3,800億VNDの49倍の水準となっている。

政策金利低下に支えられ、ベトナムの不動産投資や建設投資の回復期待が高まったことが、同社の株価のパフォーマンスに対してプラスに働いたと考えられる。

同社は2023年12月期の売上高を前期比16.7%増の37兆4,570億VND、税前利益を同39.2%減の1兆2,720億VNDと計画しているが、2023年1-9月累計実績の進捗率は売上高が58%、税前利益が109%となっている。想定よりも厳しい事業環境下となっているようで、売上高の進捗は厳しい状況だが、不動産賃貸事業の収益向上と、厳しい環境に対応した素早いコスト削減によって利益計画が順調になっていることも、良好な株価パフォーマンスの支援材料となっている可能性がある。

経済統計をみる限り、ベトナムの不動産業界や建設業界の業況改善は遅れており、同社の電力設備関連事業、建設資材事業、電力・上下水道事業主力事業の業績動向にも明確な回復傾向はみられない。回復期待が一段と後退するような場合のバリュエーションの調整リスクには注意が必要だろう。

図表2 株価推移



ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20231113

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。